

重症心身障害児者施設におけるAMR対策 ～薬剤耐性菌を拡げない、つくりたくないために～

東京都立府中療育センター ICT・AST



1 活動概要

当施設の利用者はADL全介助で、呼吸・嚥下・排泄機能障害の合併が多い。生活の場であり、耐性菌保菌者の隔離や活動制限はQOLの低下につながる。これらの特徴を踏まえ、**薬剤耐性菌を拡げない対策**(利用者に接する全職種が共通の認識・知識を持ち、他施設と耐性菌情報を共有することにより、適切な感染予防を行う)、**つくりたくない対策**(抗菌薬適正使用に関する知識を深め、適正な使用ができるようにする)を行っている。

2 活動内容

耐性菌を拡げない対策

(1) 施設内の情報共有

・接触予防策の表示

「にこちゃん」

離床時にも接触予防策の必要性がわかるために、車いすに表示



・感染防止対策評価表

必要な医療ケア、デバイス等個別性が高いため、全ての介助者が適切な対策をとれるよう具体策を評価し、看護カルテで閲覧(右表)

項目	実施状況
施設	<input type="checkbox"/> 感染管理を原則、 <input type="checkbox"/> 感染管理が不可能であれば大部屋で隔離、 <input type="checkbox"/> 大部屋で可。
接触時の対応	<input type="checkbox"/> ガウン <input type="checkbox"/> エプロン <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> ゴーグル、 <input type="checkbox"/> 器材にビニール袋を使用 <input type="checkbox"/> 器材は使用直後にショードックで清掃。
感染予防策	<input type="checkbox"/> ショードック使用、 <input type="checkbox"/> クリアパワー使用。
使用物品	<input type="checkbox"/> 血圧計、聴診器、体温計、はさみなどの共有物品は専者専用とする、 <input type="checkbox"/> 共有での使用は可能だが使用毎にショードックで清掃。
処置時の原則	<input type="checkbox"/> 順番は最後 <input type="checkbox"/> 順番は可能な限り最後。
移動時	<input type="checkbox"/> ガウン <input type="checkbox"/> エプロン <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> ゴーグル、 <input type="checkbox"/> 経管栄養 <input type="checkbox"/> ガウン <input type="checkbox"/> エプロン <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> ゴーグル、 <input type="checkbox"/> 移動時 <input type="checkbox"/> ガウン <input type="checkbox"/> エプロン <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> ゴーグル、 <input type="checkbox"/> 移動時 <input type="checkbox"/> ガウン <input type="checkbox"/> エプロン <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> ゴーグル、
訓練科対応	<input type="checkbox"/> 訓練中はガウン・手袋の着用、 <input type="checkbox"/> 濃厚接触が無い時は、エプロン・手袋の着用、 <input type="checkbox"/> 濃厚接触が無い時は、防護具はなし、 <input type="checkbox"/> 順番は可能な限り最後、 <input type="checkbox"/> 訓練中は、他の利用者との距離を1m以上あける、 <input type="checkbox"/> 共有で使用する物品はショードックで拭く(訓練で使用した道具等)。
指導科対応	<input type="checkbox"/> 個別活動 <input type="checkbox"/> グループ活動メンバー所属可、 <input type="checkbox"/> 活動中に濃厚接触がある場合はエプロン・手袋の着用、 <input type="checkbox"/> 活動中の防護具はなし、 <input type="checkbox"/> 順番は可能な限り最後、 <input type="checkbox"/> 活動中は、他の利用者との距離を1m以上あける、 <input type="checkbox"/> 共有で使用する物品はショードックで拭く(活動で使用した道具等)。
入浴	<input type="checkbox"/> 順番は可能な限り最後、 <input type="checkbox"/> 更衣持ち帰りは固定する、 <input type="checkbox"/> 濃厚な関わりがある場合はガウン・手袋の着用(持参する)、 <input type="checkbox"/> 活動中は、他の利用者との距離を1m以上あける、 <input type="checkbox"/> 散歩・外出中の防護具はなし、 <input type="checkbox"/> 共有で使用する物品はショードックで拭く(活動で使用した道具等)。
保育・行事	<input type="checkbox"/> 順番は最後、 <input type="checkbox"/> 順番は可能な限り最後、 <input type="checkbox"/> 至急返り耐性菌検出報告をする、 <input type="checkbox"/> ケアをおこなった後は、手洗いを励行してもらう、 <input type="checkbox"/> ガウンまたはエプロン・手袋の着用を指導する。
保菌者の対応	

・耐性菌保菌情報リスト

施設内の耐性菌保菌者

・ICTニュースレター

アンチバイオグラム、耐性菌検出状況、市中感染情報等を毎月発信

耐性菌をつくりたくない対策

(1) 抗菌薬適正使用支援チーム(AST)

・ASTラウンド

・連携病院感染症科(都立小児総合医療センター)へのコンサルト体制構築

(2) 医師向け講習会 抗菌薬適正使用について

(2) 院内感染マニュアルの作成

生活の場面での実践的なマニュアル

実施場面	作業のポイント	手順書 参照頁
1 外出準備	・ 外出先、外出目的に応じて、個人用防護具などを持参する。 ・ 拭きアルコール製剤、ビニール袋、手袋を持参する。	
2 外出中	・ 利用者の流涎を処理するために、鼻、口唇部、気管切開部付近に触れるときは手袋をする。 ・ 飲食の介助をするときは手指消毒をする。 ・ 利用者の排泄を介助するときは、手袋を着用する。介助後は手指衛生をする。	
3 外出後	・ 使用済みの個人用防護具はビニール袋に入れて持ち帰り、病棟の段ボール製 MD ボックスに廃棄する。 ・ 外出から戻ったら、手洗いをする。 ・ 車いすの車輪に明らかな泥汚れなどがある場合は、屋外にて洗浄してから院内に戻る。	

(3) 日常ケア時のバンドル策定

おむつ交換、入浴介助、経管栄養、カニューレ交換等、全8項目

(4) 他施設との情報共有

短期利用者の主治医に、保菌状況の提供を依頼

コンサルト体制の一連の流れ

